

〈対象地区や周辺の状況〉

- 地区の大部分を動植物公園である天王寺公園が占めている。地区の北側に一心寺、東側には堀越神社などの寺社がある。
- 上町台地の西端部に当たり、地区の中央部を南北に上町台地西側の斜面が走る。斜面の上部は天王寺公園の一般区域や一心寺境内を中心とした区域であり、斜面の下部は天王寺動物園の区域となっている。

〈土地利用現況〉

- 地区内の東部が公園緑地で、西部が文教施設である天王寺動物園となっており、地区の北側と東側の一部に一心寺、統国寺、堀越神社などがある。



〈風致地区〉

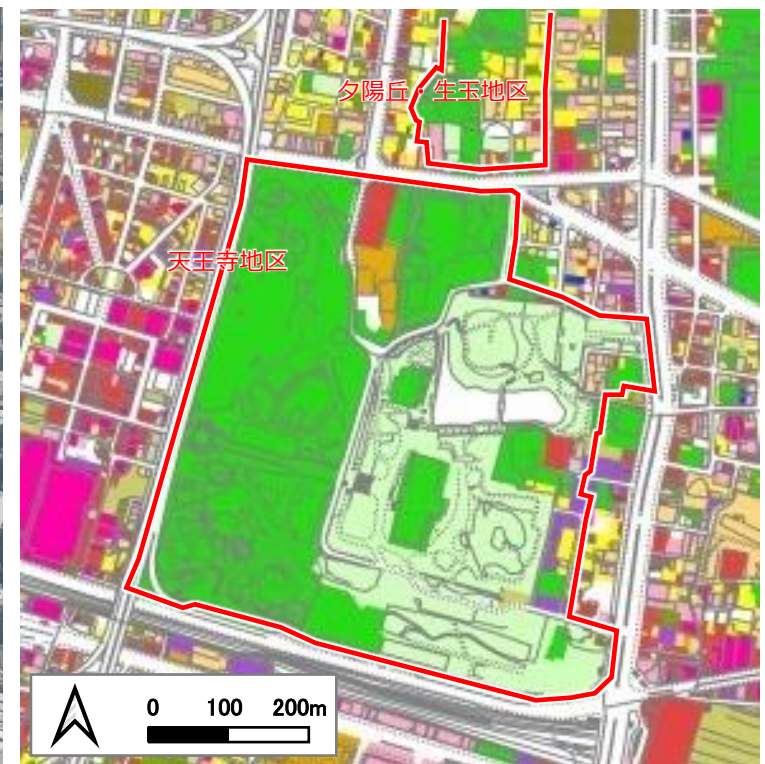
- 地区の全域が、茶臼山風致地区に指定されている（図面は3ページのとおり）。

〈景観計画〉

- 地区の全域が、「大阪市景観計画」における基本届出区域のうち、都心景観形成区域に含まれている。
- 東側の一部が「道路景観配慮ゾーン」に指定されているほかは、「上町台地景観配慮ゾーン」に指定されている。



【地区の航空写真】



【土地利用現況※】

※マップナビおおさか『令和3年度土地利用現況』に一部追記



※Google Earth上で保全配慮地区の区域を重ねて表示

〈茶臼山〉

- 園路が整備されており、気軽に散策できる。



〈河底池〉

- まちなかの貴重な水辺空間であり、水辺を身近に感じることができる。



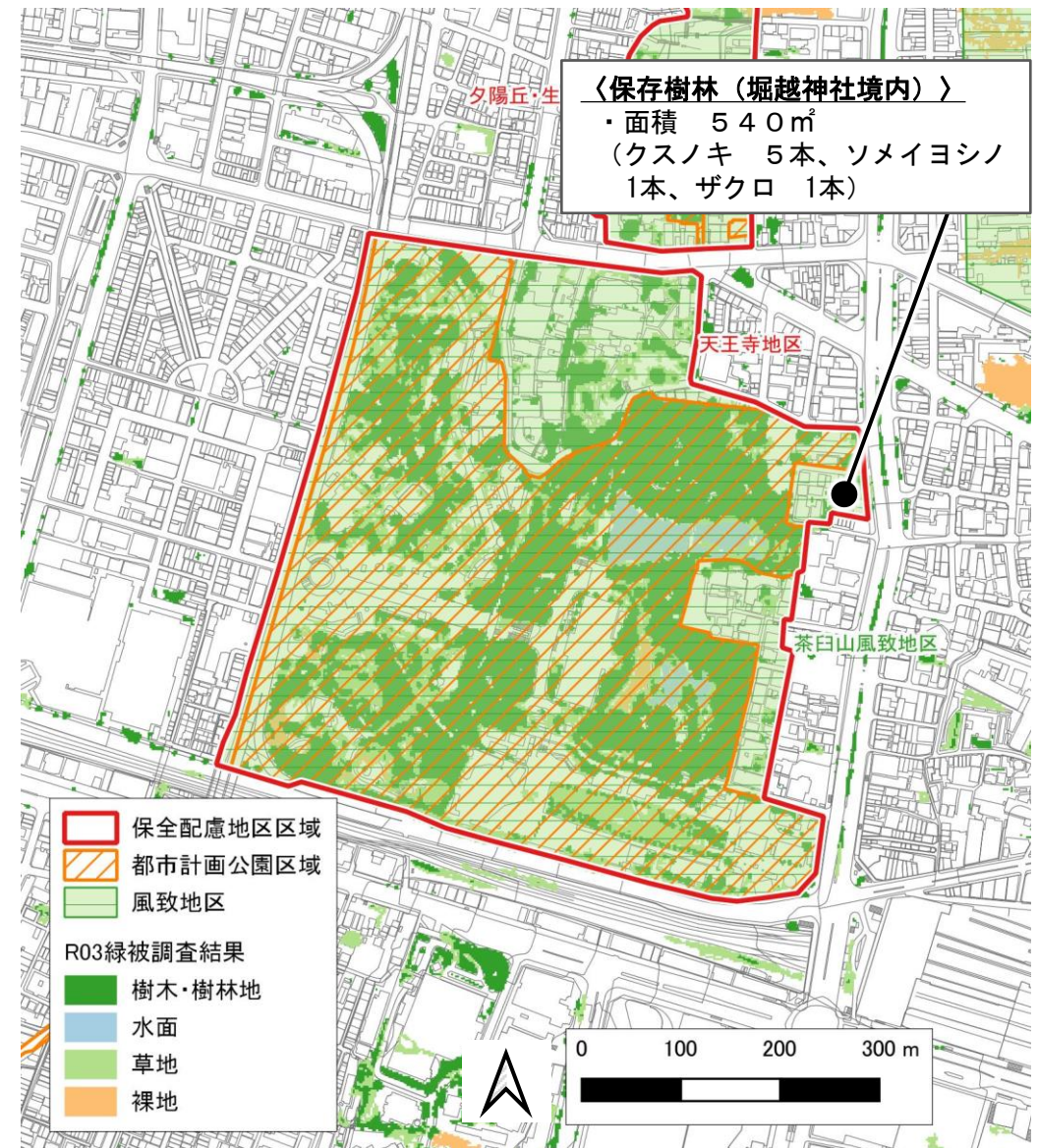
〈てんしば〉

- 芝生スペースが多くの利用者に賑わっている



〈天王寺公園東側〉

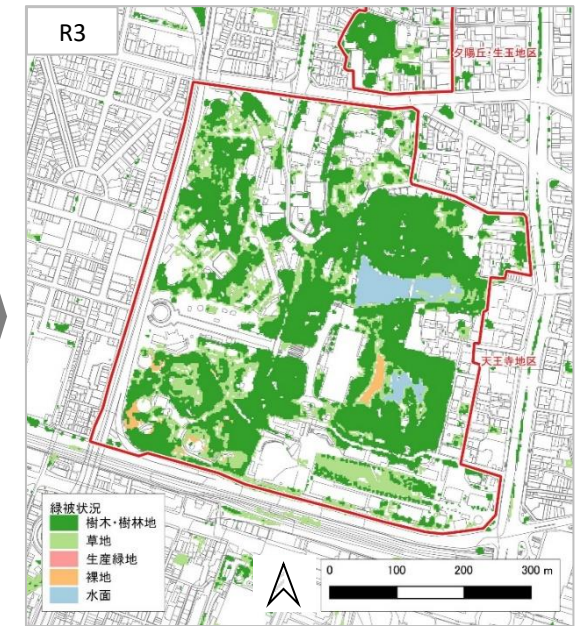
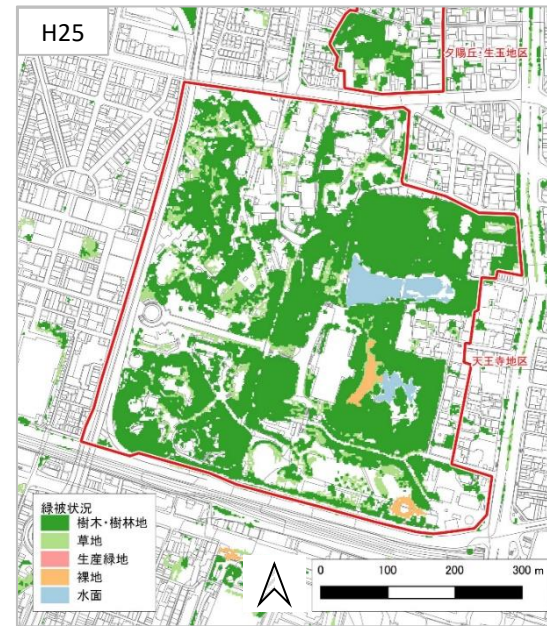
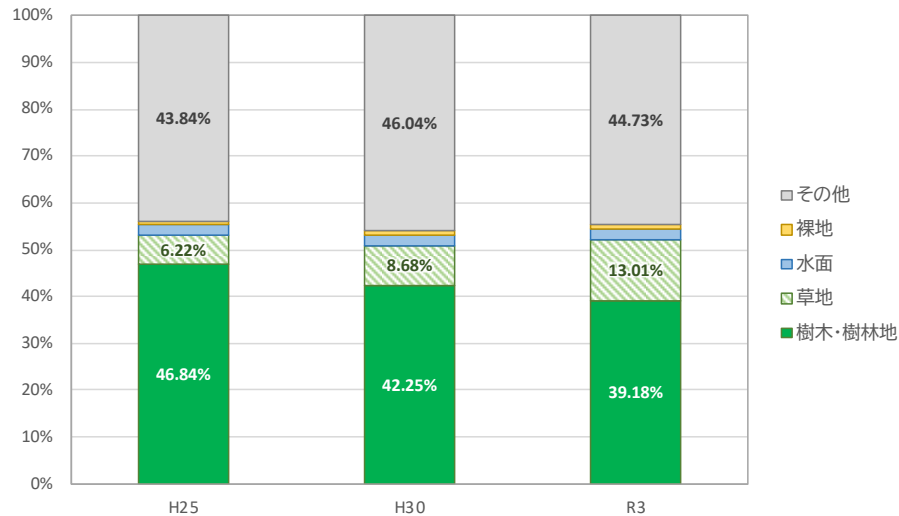
- 斜面上に豊かな樹木が残り、ボリュームのあるみどりを感じることができる。



【みどり資源の位置図】

〈緑被の状況（H25～R3）〉

- 地区内の緑被率（樹木・樹林地、草地）は概ね50%程度で推移している。
- 内訳をみると、樹木・樹林地の面積が減少し、草地の面積が増加している。



〈地区の課題〉

① 夕陽丘・生玉保全配慮地区との一体的なみどりの保全

…上町台地の貴重なみどりを保全するために、夕陽丘・生玉保全配慮地区との一体的な取組が求められる

② 保全と利用のバランス

…歴史的な施設が見られるエリアと、近年整備された都市的な利用が見られるエリアに分けられる。それぞれのエリアの特徴や利用状況を踏まえ、保全と利用のバランスを考慮しながら維持・整備していくことが求められる

③ 効果的な情報発信

…当該地区が保全配慮地区であると十分に認知されていないことも考えられるため、現地やWeb等での効果的な情報発信が求められる